

「日本遺伝子診療学会誌」投稿規定

2024.12.2

1. 本誌は遺伝子関連技術の臨床的応用に関する研究の推進と向上および良質な遺伝子診療の推進と発展・普及に貢献する投稿論文で、他誌に未発表なもの（原著、技術論文、報告、総説、解説、症例報告、紹介、速報など）および学術集会記録、学会告示、学会報告ならびに業務経過や編集委員会が企画する特集記事などを掲載する。
2. 筆頭著者は本学会員に限る。ただし、編集委員会により依頼したものは非会員であっても投稿は可能とする。
3. 原稿は和文とし（付記1. 参照）、投稿方法はE-mail による送信とする。
 - 1) 原稿に、投稿原稿チェックリスト（※最終ページに掲載）を添付する。
 - 2) 電子媒体として使用するファイルの種類は以下の通りとする。
 - ① 本文・図表の説明は、Microsoft Word で作成する。
 - ② 図表は、Microsoft Word, Microsoft Excel またはMicrosoft PowerPoint で作成する。
 - ③ 画像は、JPEG, GIF またはBMP で作成する。
4. 原稿の採否は査読者の査読を経た上で編集委員会にて決定する。編集委員会にて査読者の意見が付いたものは、2週間以内に再投稿する。
5. 論文の投稿に際しては、必ず共著者の同意を得ること。
6. 掲載は原則受理順とする。
7. 原稿は初校を著者校正とし、誤字の訂正程度の1回のみとする。
8. 著作権・版權：本誌に掲載された論文の著作権・版權は、日本遺伝子診療学会に帰属する。投稿にあたっては、本誌に綴りこみの著作権譲渡の同意・承諾確認書に著者全員の署名を必要とする。

付記1.（論文の書き方）

1. 表紙に、論文の種類（原著や報告など）、表題、所属、著者名、住所、電話、FAX、E-mail address、キーワード（原著は5語以内、その他は3語以内）、および別刷り希望部数（朱記）を記入する。
2. 原著には要旨として、和文900字以内を添付する。英文要旨は、表題、著者名、所属、住所、要旨の順とする。原著以外の論文には、200～600字の和文要旨を添付する。
3. 原著は要旨、はじめに（目的を含む）、方法、結果、考察、結論、引用文献、図表、英文要旨の順とする。
4. 倫理的配慮：人を対象とする医学系研究は、世界医師会による最新のヘルシンキ宣言に示された倫理規範を遵守する。また文部科学省および厚生労働省が提示する「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」、

「遺伝関連三学会の学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」(2020 年 1月)を遵守する。
倫理審査委員会等の承認を受けている場合は、その承認番号を記載する。

5. 利益相反: 投稿者は論文投稿時に著者全員の投稿内容に関する利益相反(COI)状態をとりまとめて自己申告する必要がある。『投稿論文に関わる利益相反(COI)自己申告書』を提出すること。なお、投稿論文に関わるCOI状態がない場合も、「本論文に関して、開示すべき利益相反状態は無い。」などと記載すること。
6. 他の文献からの文章、図、表をそのまま転載する場合は、著作権者から書面による許可を前もって受け、投稿原稿には許可書のコピーを必ずつけること。ただし、本学会の出版物に掲載された自分の著作物に関しては不要。
7. 図表は、1点あたり和文400字として換算する。
8. 原稿の長さとして、原著と総説は、和文論文では10,000字以内(図表、文献を含む)とする。その他の論文は、和文論文は付記2の通りとする(図表、文献を含む)。
9. 表題には商品名を用いない。やむを得ず文中に登録商標名を使用する際は、最初を大文字とし、商標名の末尾右肩に®を付ける。
10. 和文原稿の図表およびその説明は、和文とする。
11. 引用文献は原則として20編以内とし、引用順に本文の末尾に一括し、バンクーバー形式で記載する。和文誌名は省略せず正式名称を用いる。英文誌名は Index Medicus に従う。著者名が6名以内の場合は全員を記載し、7名以上の場合は初め3名を記載し、以下は “ほか”，または “et al.” とする。著者のイニシャルの後のピリオドは不要である。引用文献における英文誌名や年、巻、頁の英数文字と句読点は、半角文字を用いる。WEBサイトから引用する際は、URLと参照日(西暦年月日)も記載する。
12. 文献:本文引用順に、文献番号を1), 2), 3), …とつける。

本文の引用箇所の右肩に出現順に通し番号をつけ、本文の末尾に一括して記載する。論文の表題を入れ、著者が4名以上の場合は、筆頭から3名のみ、あとは “他”， “et al.” とする。なお、雑誌の省略名は和文の場合は『医学中央雑誌・収載誌目録』、洋雑誌では『Index Medicus』による。

i. ジャーナルの記載例

i-1)和文雑誌記載例

著者名: 論文題名. 雑誌名, 巻: 最初頁—最終頁, 発行年.

例)谷口 充, 青木洋子, 中山智祥, 他: 職域における遺伝子診療に関する人材育成.日本遺伝子診療学会誌, 2023;1:15-22.

i-2)洋文雑誌記載例

著者名: 論文題名. 雑誌名, 巻: 最初頁—最終頁, 発刊年.

著者名は、姓(last name)名(first name)のイニシャル、ミドルネームのイニシャルの順に表記する。

例)Thomas MC. Diuretics, ACE inhibitors and NSAIDs – the triple whammy. Med J Aust. 2000;172:184-185.

i-3)オンライン版の場合

(1)DOI のある場合

著者名: 論文タイトル. 収載誌名, 発行年, 巻, 最初頁—終了頁. doi: DOI 番号.

例)Kashima M, Tsubamoto H, Sato C, et al : Development of an integrated support system for hereditary cancer and its impact on gynecologic service. Int J Clin Oncol, 2013. doi:10.1007/s10147-013-0649-z.

(2)DOI のない場合

著者名 : 論文タイトル. 収載誌名, 発行年, 巻, 最初頁—終了頁. URL.

ii. 単行書の記載例

ii-1) 単一著者の例

著者名 : 書名, 版数, 最初頁—最終頁, 発行書店, 発行地, 年.

例)Rapp R : Testing Women, Testing the Fetus: The Social Impact of Amniocentesis in America(The Anthropology of Everyday Life). 53-77, Routledge, New York, 1999.

ii-2) 編集された著書のなかに収録された論文

著者名 : 論文名(題名). In 編者名, 編者名, 編者名(Eds.) : 書名, 版数, 最初頁—最終頁, 発行書店, 発行地, 年.

例)Smith ACM, Pollin TI : Patient education. In Uhlmann WR, Schuette JL et al.(Eds.): A Guide to Genetic Counseling, 2nded, 177-201, John Wiley & Sons, Inc., Hoboken, 2009.

ii-3) 訳本の場合

著者名 : 原語書名. 版数, 年. 訳者名(訳) : 日本語書名. 版数, 最初頁—最終頁, 発行書店, 発行地, 年.

例)McNamee S & Gergen KJ : Therapy as Social Construction. 1992. 野口祐二, 野村直樹(訳) : ナラティブ・セラピー—社会構成主義の実践—. 142-153, 金剛出版, 東京, 1997.

iii. インターネット資料の記載例

著者名 : “Web ページの題名”. Web サイトの名称. (媒体表示), 入手先 <URL>, (参照日付). (Web サイトの名称は, 著者名と同じ場合は省略可)

例)日本医学会 : “「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」”.
日本医学会 HP. <<http://jams.med.or.jp/guideline/genetics-diagnosis.pdf>>, (2022 年 3 月 改定).

付記2.(論文の書き方)原稿限の長さは以下を限度とする

邦 文 論 文	論文種別	文字数 _ (本文+図表) _	要旨 _ (英文) _	要旨 _ (邦文) _	文献
	原著・総説	10,000字以内 (本文のみ, 要 旨・文献を除く) 図表: 5点以内	300 word以内 _	600字以内 _	50編以内 _
	症例報告	8,000字以内 (本文のみ, 要旨・ 文献を除く) 図表: 5点以内 _	250 word以内 _	500字以内 _	20編以内 _
	短報	4,000字以内 _ (本文のみ, 要 旨・文献を除く) _ 図表: 2点以内 _	150 word以内 _	なし	10編以内 _
	大会報告	3,000字以内 _ (本文のみ, 要旨・ 文献を除く) _ 図表: 2点以内 _	100 word以内 _	なし	

付記3.(掲載料)

1. 規定字数以内は無料とし, 超過分は実費を徴収する(1頁あたり12,000円×頁分)。
2. 別刷りは有料とする。
3. 図表が不鮮明な場合は, 著者の希望がなくてもトレースしその費用は著者へ請求する。

原稿送付先および連絡先:

〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7-12-16 株式会社ソウブン・ドットコム内

日本遺伝子診療学会担当者宛

メールアドレス: gene-dt@soubun.org

投稿原稿チェックリスト

【各項目を確認してからチェック(✓)し、原稿と一緒に送って下さい。】

- ☐ 投稿規定を読み、内容を確認しました。
 - ☐ 著者・共著者全員が、投稿原稿の内容を確認しました。
 - ☐ 著者・共著者全員が、本学会会員です。(ただし編集委員会から依頼した本学会員外の方はチェック不要)
 - ☐ 表紙に論文の種類(原著や報告など)を記載しました。
 - ☐ 表題(論文題名)に商品名は用いていません。
 - ☐ 表題(論文題名)は論文内容を的確に表現しています。
 - ☐ キーワード(原著 5語以内・その他 3語以内)は適切に選択しました。
 - ☐ 字数は、規定の範囲に収めました。
 - ☐ 要旨には、目的・方法・結果・結論を簡略に記載しました。
 - ☐ 本文は、
 - ☐ はじめに(目的を含む)・方法(対象と方法)・結果・考察・結論・引用文献・図表、要旨の順に記載しました。
 - ☐ はじめに(目的を含む)と方法を明確に記載し、これに対応する結果・考察・結論を記載しました。
 - ☐ 統計学的分析を行った場合、検定方法と検定結果を明記しました。
 - ☐ 略号を使用する場合は、最初に記載する箇所で、日本語・英語のフルスペルを併記しました。
 - ☐ 商品名を記載する場合は、商品名の後ろに上付きで (registered trademark)を入れました。
 - ☐ ページ番号を入れました。
 - ☐ 倫理審査委員会等の承認を受けている場合は、その承認番号を記載しました。
 - ☐ 引用文献は、
 - ☐ 引用順に番号を付けて本文の末尾に列記し、本文中の引用箇所にその番号を挿入しました。
 - ☐ 投稿規定で規定されている「形式・雑誌名・著者名の数」に従って記載しました。和文誌は正式名称を用いました。
 - ☐ 引用文献の雑誌名、年、巻、頁番号の表記に誤りがないことを確認しました。
 - ☐ 図表は、
 - ☐ 図表は 1 点ごと 1 枚に示しました。
 - ☐ 図表番号を本文の説明箇所に挿入しました。
 - ☐ 図は説明文を図の下に、表は説明文を表の上に記載しました。もしくは図表の説明は別紙に記載しました。
 - ☐ 図は、白黒印刷しても分かるように描かれています。
 - ☐ 患者や被験者を対象とした臨床研究では、倫理的配慮が必要な場合はその旨を、倫理審査委員会等の承認を受けている場合は承認番号を記載しました。
 - ☐ 利益相反(COI)自己申告書を添付しましたか。
 - ☐ 著作権譲渡の同意・承諾確認書を添付しましたか。
 - ☐ 再投稿の場合、査読者の「照会事項・意見」に対して、どのように応答したのかが分かるように回答書を付けました。
- ※ 投稿原稿について連絡事項等がありましたら、ご自由にお書きください。